



/ 年 8 月 22 日

南相馬市議会議長

会派名 無会派 (公明党南相馬市議員)
代表者氏名 志賀 稔宗 

調査研究報告書

- 1 期間 / 年 8 月 7 日 (水) ~ / 年 8 月 9 日 (金)
- 2 参加者 ① 志賀 稔宗 ② _____
③ _____ ④ _____
⑤ _____ ⑥ _____
- 3 旅行先及び調査研究内容 別紙のとおり

調査研究内容

月日	／年 8 月 7 日 (水) ~ 年 8 月 9 日 (金)
旅行先	明石市、養父市
調査研究事項	認定こども園の取りくみ、公共交通やぶくろの取りくみ、
〔内容(認定こども園の取りくみ)〕 二見幼稚園と二見保育所は隣接して設置されていたところ、平成28年4月に幼保連型認定こども園として開園した。 利用者からの評価について、開園当初はこれまでの保育所・幼稚園生活をそのまま迷えると思っていたが「保育所時代は散歩があり良かったが無くなった」「集いの音楽会がなくなり非常に残念」等のマイナス評価が多く聞かれた。 現在はこども園の生活も安定し保護者からの苦情はなくなった。開園から同じ園長が継続勤務しており、園の安定に大きく貢献している。 乳幼児期の重要性を踏まえ就学前教育・保育を一体的に行う合理性があることから本市においても自信をもって推進すべきと思慮される。	
(公共交通やぶくろの取りくみ) 国家戦略特区を活用して新たな自家用有償観光旅客等運送事業を実施している。 通常は道路運送法により認可を受けた緑ナンバーのバス、タクシー等の独占事業であるが、登録ドライバー車両をもって運送事業が可能になっている。緑ナンバーの不足を補う上で極めて有効と感じた。 他にも養父市では農地権利移動の許可事務を農業委員会の同業により市が行うようにしたり、企業による農地取得の特例(5年間の時限措置)を実施するなど特区制度を活用した行政展開を図っている。 本市としても大いに見習い制度の積極活用を検討すべきと思慮される。実りの多い研修であった。	